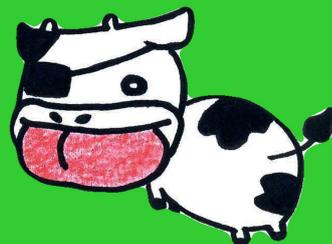


21・老福連 第15回 職員研究交流集会in宮城

第1号

たんたん



今年もやります職員研究交流集会
開催地は……杜の都、仙台！



実行委員長あいさつ

2015年は大幅介護報酬のマイナス、介護保険法の改定があり、その内容に愕然とし、対応に追われていることと思います。真剣に福祉に取り組んできた中でこのような形で、ご利用者、提供する事業者ともに大きく影響を受け、介護保険制度や日本の社会保障制度は大丈夫なのかと危惧されているのではないかと思います。社会保障・福祉が危ない状況の中、その事業の前提となる平和の課題も重要な課題のひとつです。憲法を暮らしに生かす、権利としての福祉の充実を求めたいと思います。

3.11 東日本震災では、全国の多くの皆様の、物資の支援や職員の派遣をいただき、大変お世話になりました。本当に感謝と御礼を申し上げます。



実行委員会では現在、被災地福島からの報告や現場で活用できる講演などの準備を進めております。

様々な課題や困難がある中で、現場からの実践報告と交流で、学び考えあう、実り多い3日間にしたいと考えております。

たくさんの皆様のご参加を、心よりお待ち申し上げます。

実行委員長：海和 隆樹（社会福祉法人宮城厚生福祉会 法人事務局長）

「21・老福連」って何？

正式名称は「21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会」です。全国の老人ホームの施設長有志の呼びかけで2001年に設立しました。本音で語り合い、お互いの経験を真摯に交流し合っていける場を作り上げ、豊かな援助実践と公的福祉の確立を目指しています。



「職員研究交流集会」って何？

毎年、全国で働く仲間が一同に会し、実践報告、研究発表等を行うものです。共に学び、悩み、語り、励まし合う学びの場であり、高齢者主体の援助実践、ケアの質、暮らしの内容を豊かにするためのものです。昨年（2014年）の島根大会では、全国から392名の参加があり、分科会では109演題の実践報告がありました。

島根大会('14)に参加した方々の声

他県の人と情報交換ができ、励まされたし勇気もらった。

他施設での取り組みを知り、学ぶことがたくさんあった。

交流会がとても楽しかった！各地元のお酒や特産物を持ち寄ってくださり、ものすごくお得感を感じた。



記念講演を聞いて、介護と平和は切り離せないこと、憲法から考えることの大切さに気付いた。

活気があり、みんながいい介護をしたいという思いを持っていることが伝わってきた。

新人さんもベテランさんも、ご参加をお待ちしています！

第15回 職員研究交流集会

期間 2015年11月7日(土)～11月9日(月)

開催地 宮城県仙台市

テーマ 「地域を支える福祉と私たちの役割

～大震災から4年を経て～

介護保険制度改定により、私たちを取り巻く状況は変化しています。「利用制限」、「負担増」、「事業所の減収」…。そんな中でも私たちは、高齢者の生活を守っていかねばなりません。地域包括ケアが叫ばれる今、私たちの役割とは？東日本大震災から4年。今改めて感じる地域で暮らすことの喜び、命の尊さ、福祉の必要性を今もう一度、東北の地で考えたいと思います。

マスコットキャラクター決定！



立ってるたんたん

「たんたん」です

仙台と言えば牛タン！

仙台と言えば伊達政宗（独眼竜）！

由来は単純ですが、どうぞよろしくお願いします



振り向くたんたん

4年越しの思いを込めて

2011年10月、第11回職員研究交流集会は宮城県仙台市で開催される予定でした。

しかし、同年3月11日の東日本大震災による甚大な被害から、宮城県での開催は困難となり、急遽山形に会場を移すことになったのです。東北地区のみならず、関東、関西地区からのたくさんの協力のおかげで、第11回大会は活気あふれる有意義な大会となりました。

第11回大会（‘11）実行委員長からひとこと

4年前、第11回職員研究交流集会の準備を進めていた矢先、東日本大震災が起きました。余震にふるえていた3日目の夜に、山形とかみ共生苑の横山施設長さんたちが、ワゴン車いっぱいの支援物資を届けてくれた、その時の感激を今も忘れません。職員研究交流集会は、地元山形の奮闘はもとより、関東をはじめ全国からの温かな激励の下、天童にて無事終了しました。あれから4年が過ぎました。被災地では、高齢者をはじめ困難を抱えた方々、特に福島では原発での被災者への支援がまだ残されたままになっています。東日本大震災では、15,891名が亡くなり、現在も2,579名の方が行方不明になっています。逝ってしまった人たちのためにも、今残された被災者が幸福に生きることこそが望まれています。困難を抱えた人たちの生命と生活を保障するのが、社会保障・福祉であるはずですが、

何やらきな臭い時勢の今だからこそ、被災地から生命の尊さや人間としての尊厳をもって生きる意味を考え合いたいと思います。皆様のお越しをお待ち申し上げます。



第11回大会実行委員長：21・老福連 代表幹事 小野ともみ
 (社会福祉法人宮城厚生福祉会
 高齢者福祉施設「宮城野の里」前施設長)

私達が実行委員です



今年は東北・北海道ブロックが実行委員を担当します。
 (北海道、山形、宮城、福島から集まっています。)
 全国各地から参加される皆さんにとって、発見の多い実りある大会になるように頑張ります！

21・老福連第15回職員研究交流集会実行委員会

【事務局】社会福祉法人 宮城厚生福祉会 高齢者福祉施設 宮城野の里 担当:土谷

TEL:022-388-8777 FAX:022-388-8778



宮城県と言ったらコレ☆



松島

日本三景の一つ、松島。260余りの島々があり、伊達政宗の瑞巖寺、五大堂など様々な寺院が建っています。

1年を通して松島湾観光遊覧船でのクルージングを楽しむことができます。「奥の細道」の冒頭で「日本で1番の景色」と詠われていることでも有名です。

牛タン



牛タン焼きは仙台が発祥の地とされています。昭和23年に仙台で初めてとなる牛タン焼き専門店を開いたとされる「味太助」は、8店の分店を持ち、今も人気店として営業しています。

その他にも、仙台で牛タンを食べられる店は他にも多数。ぜひご賞味ください！



仙台城(青葉城)跡

仙台城は初代仙台藩主伊達政宗が1610年に築城しました。現在、当時の建物は残っていませんが、長い歴史が刻まれた石垣が当時を偲ばせます。伊達政宗騎馬像が建つ天守台は眺めがよく、仙台市内を一望するビュースポットとして人気があります。

楽天イーグルス



2004年に設立。仙台市宮城野区にある楽天スタジアム宮城を本拠地としています。2013年、星野仙一監督時代にリーグ優勝、日本シリーズ優勝を果たしました。2011年4月、大震災直後の復興支援のための慈善試合で嶋選手が言った「見せましょう野球の底力を」という言葉は東北のファンを励ました。



仙台七夕まつり

伊達政宗公の時代から続く、伝統行事。毎年8月6日から8日に催されています。アーケード街にずらりと並ぶ豪華絢爛な七夕飾りが見物です。花火祭りやコンサートなども市内各地で行われ、毎年200万人超の来場者で賑わいます。

光のページェント



仙台市中心部の定禅寺通りと青葉通りのケヤキ並木に数十万に上るLEDを取付けて点灯するイルミネーションイベントです。毎年12月中旬から12月末にかけて開かれ、昨年で29回目となりました。